北海道

北海道立江差高等看護学院 通信

第１２号［令和６年３月４日］

― 発 行 ―
北海道立江差
高等看護学院

学院の近況

今年は雪も少なく、春が早かった江差です。講義や演習、実習など、目まぐるしくカリキュラムが進行し、学院での一年は本当に早く感じます。学生の皆さんも、目の前の課題や試験に全力で取り組んでいるうちに、あっという間の一年だったのではないでしょうか。

そして**三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。**これまで支えてこられた保護者の皆様におかれましても、心からお祝いを申し上げます。江差高等看護学院のこれまでの卒業生は、令和５年度（24回生）を含めると、**延526人に**なります。

今年度はハラスメント再発防止対策も一通り定着し、よりよい学習環境を目指し新しい取り組みにもチャレンジしてきました。今年度、私が印象に残った取り組みBest３を発表します。

第1位	「**江差高看まつり**開催」 多くの関係者のご協力のもと169人の来場者を迎え大盛況!学生自治会が頑張りました。
第2位	「**江差らしさ、道立の強みを活かした実習**の開始」 奥尻町関係施設、南檜山メディカルネットワーク、札医大・コドモックル等での実習を開始。 地域医療への使命感が高まるとともに、高度医療との連携を考える機会になりました。
第3位	「**ほめ活**～全学生が他の誰かにほめられる」 相手を観察する力が育ち、些細な変化にも気がつくようになりました。自己肯定感も向上しました。

学院のホールには鉢植えがいくつか並んでおり公務補さんが世話をしてくれています。私も時々、枯れ葉を摘んだり栄養剤をあげたりしましたが、この冬、数年ぶりに赤とピンクのシクラメンが咲き、カランコエもつぼみをつけました。植物をうまく育てる人を英語で「**グリーンハンド**（green hand）」と言うそうです。草花と言葉を交わし常に観察しながら、草花が語りかける微かなメッセージを聴くことで、しおれかかった草花を生き返らせ、元気な花を咲かせるパワーをもっているとのこと。

江差高看に赴任して２年３ヶ月、学生や保護者の声を真摯に聞き出来ることから学院運営に反映させてきました。学生の皆さんがこれまでの学院生活を糧に花を咲かせてくれることを、職員一同願っています。

学生確保、教員確保など、学院を取り巻く現状や課題はなお厳しい状況にありますが、引き続き、地域関係者の皆様のご理解とご支援をいただきながら、学生が安心して看護を学べる学習環境を整えて行きたいと思います。（学院長・石谷絵里）

今年もホールに
七段飾りが登場▸

音楽のチカラ その1

いのちの電話主催

こころのライブ授業in江差 (2/19)

いのちの電話の杉本事務局長さんによる講話と、「希望を歌うロックバンド」ナイトdeライトのライブで構成されたイベント。江差高校、上ノ国高校の生徒さんもお招きし、大切な人が悩んだり困った時にどうすれば良いか、自分が悩みを抱え困った時にどうすれば良いかを考えました。「生きててくれてありがとう」「わがまま」「桜」などアンコールを含め6曲が披露され、参加した約150人が一緒に盛り上がりました。

学生の感想

・産まれてきたこと、存在そのものが素晴らしいと感じさせてくれる曲でした　・歌詞が刺さり泣けてきました
・ありのままの自分で良いって言葉が響きました、歌詞がとても良かったです　・耳に残る・心に残る曲でした
・ライブ最高でした!やっぱり音楽は皆を一つにするんだなと感じました　・胸にジーンとくるものがありました
・わがままを言ってもいい、生きていてくれてありがとうという言葉を聞き、辛い時期を思い出して泣きそうになりました
・自殺を防止するためには周りの人がいつもと違うことを察知し声かけをすることが大事だと学んだ
・患者さんの悩みや不安に寄り添える看護師になりたい　・辛い思いをしている人の話を聞ける看護師になりたい
・今日も明日も頑張ろうと思えた　・遠い江差まで来てくださってありがとうございました

杉本事務局長さんの講演

みんなで手を振りながら盛り上がりました

投影される温かい歌詞をかみしめながら

音楽のチカラ その2

卒業式で校歌を歌おうプロジェクト

地域医療への使命感や学院が立つ伏木戸地区の情景が目に浮かぶ学院の校歌。コロナ禍を経て、久しぶりに式典で校歌を斉唱することとなり、作曲者の佐々木茂先生のご指導もいただき準備を進めてきました。
卒業式でのハーモニーを通じ、学生間の絆が深まり、この学院で学ぶことに誇りをもってくれることを願っています。

学生達は卒業式に向けて、3回にわたり校歌の歌唱練習に励みました。2回目の2／29には、学年ごとのグループに分かれ、校歌の意味について調べたこと、考えたことを発表しました。3年生の発表では、看護実習での学びや江差町で苦楽を共にした仲間との想いが歌詞に照らされ、胸が熱くなりました。発表後は改めて、歌詞の由来と学生の成長が重なり、より一層、校歌が心に響きました。
卒業式本番では、江差高等看護学院の誇りと希望を胸に、それぞれの命のこだまを響かせましょう。

（式典担当：臺坂恵子）

練習風景（ピアノ伴奏は佐々木茂先生）

小学校から現在に至るまで、校歌を歌う機会は幾度となくありましたが、歌詞の意味を考察し歌ったことは今回が初めてでした。クラスメイトと歌詞の意味の理解を深めていくうちに、自然と校歌を歌う時に感情が入りやすくなっていくのを実感しました。
これからも、看護師になるための「道を求めながら」それぞれの思いを乗せて校歌を歌い、繋げていきたいです。

（1年生一同）

＜１年生＞

１月25日に町民の方３名に模擬患者さんとしてご協力いただき、バイタルサイン測定の演習を行いました。学生同士で行う時とは違う緊張感を持ちながらも、練習どおり落ち着いて測定できました。また、１月29日から2月7日まで道立江差病院で基礎看護学実習Ⅰを行いました。病院や看護部の理念、病棟の療養環境や多職種連携など基本的なことを学び、その後は受持ち患者さんの日常のケアを見学したり、バイタルサイン測定・シーツ交換などを実践しました。また、看護師と患者さんの関わり場面を見学し、看護師業務の実際や入院による患者さんの生活の変化など、多くのことを学びました。さらに、チームの一員として仲間と協力する大切さも学び、6人の連携も強くなったと実感しています。

保護者面談では、お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。今後も保護者の皆様と連携を取りながら学生の成長を支えてまいりますので、よろしくお願いいたします。

（１年生担当：竹田里美）

▲模擬患者さんの血圧測定

▲模擬患者さんと一緒に

＜２年生＞

年度末にかけての課題や試験に日々、意欲的に取り組んでいます。特に領域別に行われている看護過程演習では、“事例患者さんに必要な看護はなんだろうか”と、その難しさに頭を抱えながらも粘り強く考え抜く姿勢に成長を感じています。

２月末には、学生自治会の企画による「３年生を送る会」が開催され、３年生への感謝の思いとともに学年対抗で卓球や玉入れを通じて熱戦を繰り広げました。やはり、２年生のチームワークはピカイチ！優勝を飾ることができました！

新年度からは３年生です。半年以上にわたる領域実習が始まり、国家試験対策も本格化していきます。引き続き、保護者のみなさまの温かなご支援をよろしくお願いいたします。

（２年生担当：楠原千景）

◂３年生を送る会での
ひとこま

＜３年生＞

看護学生として臨地実習を全てやり遂げた3年生。

そのパワーを維持しながら、国家試験に向けてラストスパート、一生懸命駆け抜けました。自宅学習期間も自主的に学院で学習し集中している姿勢には、逞しさと成長を感じました。

そして、3月4日。在校生とご家族の皆様に見守られ、晴れて卒業式を迎えます。

卒業証書を手にした3年生の顔は、輝きとともに引き締まり、明るさと力強さを感じることでしょう。

いよいよ巣立ちです。困難に負けずに自分らしさを大切に羽ばたいてほしいです。

私たちは、いつも応援しています。立ち止まってしまうとき、話を聞いて欲しいときには学院を思い出してください。待っています。

（3年生担当：山中千晴）

▲研究発表会の様子

▲全員集合　まもなく卒業式

第113回・看護師国家試験が終わりました

看護師国家試験が、令和6年2月11日・札幌市内で行われ、3年生17名が受験しました。放課後や土日も学院に残り、毎日毎日頑張って来ました。出発式では、教務室で元気に「行ってきます!」と宣言し、1年生、2年生の大声援も受けて、自分たちで手配した大型バスに乗り込みました。皆さんの努力が実を結ぶことを祈っています。合格発表は3月22日です。

◀バス・ホテルは学生たちで相談して手配

1・2年生の大声援に手を振る3年生▶

ボランティア・地域との連携

2月7日に江差町が実施する町づくり事業「ネクストイノベーション」（通称ネクイベ）の今年度の成果報告会があり、学生 1名、教職員３名が参加しました。今年度は「江差高看まつり」において、ネクイベの「きずなプロジェクト」が地域食堂として参加してくれました。その他のプロジェクトも学生や教員が参加して色々な取り組みを進めてきており、地域の方と学生が交流する機会が多かったと思います。

このような地域との関わりの継続により、年末の町内会餅つき大会や、ＮＰＯ法人まちカフェ江差の新年交流会にお誘いいただくなど、今までなかった交流も増えてきました。

来年度においても、引き続き地域との交流を継続し、江差町で生活している住民として、少しでも地域の方々のお手伝いができるよう色々な取り組みに積極的に関わって行きたいと考えています。（副学院長・大島慎也）

□■　学院行事等のお知らせ　■□

- ◆ **始業（２・３年生）**　４月４日（木）
- ◆ **入学式・保護者懇談会**　４月８日（月）
- ◆ **健康診断**　４月１０日（水）

スクールカウンセリングについて

～　教員と連携し学生の皆様の学生生活をサポートします　～

●日程　３／１４（木）オンライン（16:30～18:00）
４／１１（木）、４／２５（木）　全員面談（13:30～17:30）

●予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール　sc.soudan@gmail.com

①　氏名、②学年、③連絡先Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容

スクールカウンセラー
諏訪（すわ）先生

～職員退職のお知らせ～

公務補の上野さんが定年を迎えます。快適な学習環境を整え、開学依頼、全卒業生を見守り、学生からも大きな信頼がありました。
長い間、ありがとうございました。

グリーンハンドのおかげで
数年ぶりに花を咲かせたシクラメン。
カランコエもつぼみをつけました。